

本懇談会にてご検討いただきたい項目(案)

今回議論

I. 建設施工を巡る現状

II. 建設ロボット技術の変遷と現状

III. 建設ロボット技術の課題

IV. 開発・活用の目標

- 分野別推進目標の策定（短期（3～5年）、中長期（5～10年））
 - 災害対応技術・・・無人化施工、無人化点検・調査
 - 通常施工技術・・・情報化施工、CIM、未来の建設生産システム（調査、施工、維持管理）を支える技術

※本懇談会では、下線を検討の対象とする

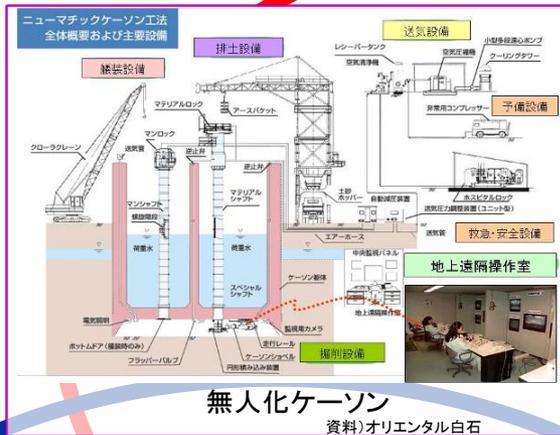
V. 実現に向けた方策

- 調査・開発・活用のスキーム
- 産学官の連携のあり方
- 人材育成のあり方

次回以降議論
進め方について今回議論

(参考) 建設ロボット技術の整理(案)

リモートコントロール



無人調査機

資料)国土交通省



無人化施工

資料)国土交通省



ロボットスーツ

資料)筑波大学 山海教授
サイバーデザイン社

アシスト



シールドマシン

資料)鹿島建設



コンピュータージャンボ

資料)西松建設



無人の鉱山用ダンプトラック

資料)コマツ



情報化施工
(マシンコントロール技術)
(マシンガイダンス技術)

資料)ニコンドリブル

オートメーション